

# 「第 24 回製剤機械技術学会仲井賞」 受賞者の選考結果について

The 24th NAKAI Award of Japan Society of  
Pharmaceutical Machinery and Engineering

仲井賞選考委員会 委員長 戸塚 裕一  
Yuichi Tozuka

Chair of Selection Committee of the NAKAI Award

本学会では創立 10 周年を機に、2000 年より表記の賞を設定し、製剤機械技術の進歩と発展に貢献した個人又はグループの功績を顕彰しております。

仲井賞選考委員会において、応募内容について新規性、実用性、社会における貢献度の観点から、慎重かつ厳正に審査した結果、下記を「第 24 回 製剤機械技術学会 仲井賞」受賞者として会長に報告し、理事会にて受賞者が決定いたしました。

## 記

・受賞者：辻本 広行、笹井 愛子（ホソカワミクロン株式会社）、  
山本 浩充、川嶋 嘉明（愛知学院大学）

・受賞業績題目：機能性化粧品・育毛剤用一剤式 PLGA ナノ粒子製剤の開発とその社会実装化

・受賞理由：第一回目の仲井賞選考委員会が開かれた際、対象者らが既に「医工薬/産官学の研究体制を特徴とする PLGA ナノスフェアシステムのプラットフォームとナノメディカルシステムの展開及び実用化」のタイトルで第 11 回仲井賞を受賞しており、また、申請書類内容は前回の受賞内容との重複点が多く、仲井賞を受賞するのにふさわしい新規性、進歩性を有する内容であるかを委員会で判定できないとの結論に至った。そこで、申請者らの前回受賞内容からの進展内容に関する追加書類の提出を依頼し、タイトルを「機能性化粧品・育毛剤用一剤式 PLGA ナノ粒子製剤の開発とその社会実装化」に変更の後、再審査を行った。

再審査の結果、今回の進展内容は、前回の受賞対象となった PLGA ナノ粒子製剤の一部改良にとどまり、新規性・進歩性が高いとは判断できないという意見もあった。一方、今回の業績は前回受賞内容である PLGA ナノ粒子製造技術をベースにしたものであるが、ナノ粒子の水性懸濁液中での凝集や PLGA の分解に伴う薬物保持能の低下を回避し、二剤型製剤から一剤型製剤に転換する製剤技術の製品化にも成功していること、本技術を用いて 2012 年以降、数々の製品を開発・販売し着実に社会実装に繋げている点などから、仲井賞受賞に値するという意見が多数であった。以上の結果から、委員会として本申請内容が「仲井賞受賞に値する」と判断した。

以上